

協同学習実践のアンケート調査からみる協同学習の教育的効果に関して

森永弘司

(同志社大学)

日本英語教育学会第45回年次研究集会

早稲田大学 2015/3/7

発表内容

1. はじめに
2. 協同学習について
3. 参加者
4. 使用教材
5. 授業の手順
6. アンケート調査
7. アンケート調査の結果
8. 英語力を向上させる上での協同学習の効果
9. まとめ
10. 教育的示唆と今後の課題

はじめに

現在の学習環境

1. 学生数の大幅な減少

1992年に18歳人口が205万人のピークを迎えるまで、いわゆる「試験地獄」と呼ばれる「受験戦争」が繰り広げられてきた。「四当五落」という言葉が当時の大学入試勉強の苛酷さを物語っている。1992年以降18歳は人口徐々に減り続け、2014年には118万人まで落ち込んでしまった。

2. いじめ,問題行動,不登校の増加

少子化のために「受験戦争」は全般的に緩和されたといえるが,小,中,高,大学における,いじめ,問題行動,不登校の割合は増加している.

英語教育の問題点

3. 英語力の低下

斉田(2010)の調査では、高校1年生の英語力は1995年以降14年連続して、偏差値に換算して7.4下がってしまった。

4. 英語教育における高い教育目標

その一方で政府は「グローバル人材」育成を旗印に、1割のエリートの養成を意図し、残りの9割を切り捨てようとするような施策をおこなおうとしている。特に英語教育に関しては、近年次のような高い教育目標が掲げられている。

提言・計画□

到達目標□

達成率□

教育再生実行本部「成長
戦略に資するグローバル
人材育成部会提言」
(2013年4月8日)□

TOEFL[®]BT[™]5点^②
英検2級以上□

100%□

政府「第2期教育振興基
本計画」(同6月14日)□

英検準2級程度～2級程度以上□

50%□

文科省「グローバル化に
対応した英語教育改革
実施計画」(同12月13
日)□

英検2級～準1級,TOEFL[®]BT[™]7点程度
以上□

不明□

こうした状況のもとで英語教育においても様々な教授法が試みられてきたが、教育実践において有効性が高い教授法の1つとして協同(協働)学習があげらる。

協同学習について

What is cooperative learning?

“Cooperative learning is a successful teaching strategy in which small teams, each with students of different levels of ability, use a variety of learning activities to improve their understanding of a subject. Each member of a team is responsible not only for learning what is taught but also for helping teammates learn, thus creating an atmosphere of achievement.”

(from Education Research Consumer Guide)

江利川(2014)は協同学習のメリットとして、次の3点を挙げている。

1. いじめ,問題行動,不登校が減少.学び合いで人間関係が良くなり,学校が「自分の居場所」となる.

2. 学力が向上.目先の点数だけでなく,学びの楽しさを知る未来の学力も.できる子も,苦手な子も,全員が伸びる.

3. 教師のストレスが減少.生徒・同僚との人間関係が良くなる.

今回の発表では江利川の挙げている2の効果に関して,3つの大学の参加者対象におこなった協同学習実践の際のアンケート調査および英語力測定テストの結果に基づいておこなった検証について報告したい.

参加者

- ・関西地区の公立S大学の工学部,環境学部,人文学部の2年生96名.
- ・関西地区の共学私立D大学の法学部と商学部の1年生71名.
- ・関西地区のD女子大学の学芸学部の1年生48名. 参加者の総計は215名である.

使用教材

1. 公立S大学

前期使用テキスト

“Reflections” 11編の短編小説と小説の抜粋
およびキング牧師の有名な演説を収録

次のようなExerciseが含まれている。

Exercise A: Recalling the Reading, Exercise B:

Understanding the Reading, Exercise C:

Analyzing Ideas, Exercise D: Word Study

後期使用テキスト

“When Harry Met Sally. . .” (映画)

Exercise

True / False Listening Quiz, Comprehension Quiz,
Vocabulary Quiz A, Vocabulary Quiz B, Translation

2. 私立D大学

前期使用テキスト

“Dahl, Dahl, Dahl!: Reading Funny Tales from *Boy*”

Exercise

Matching Words and Phrases, Hints, Comprehension

the passage, Translating into English

後期使用テキスト

“When Harry Met Sally. . .”

Exercise

True / False Listening Quiz, Comprehension Quiz,
Vocabulary Quiz A, Vocabulary Quiz B, Translation

3. 私立D女子大学

前期使用テキスト

“Dead Poets Society”（映画）

Exercise

Two kinds of Vocabulary exercises, First viewing,
Second Viewing, Grammar and Expressions, Listen
and Write

後期使用テキスト

“When Harry Met Sally. . .”（映画）

Exercise

True / False Listening Quiz, Comprehension Quiz,
Vocabulary Quiz A, Vocabulary Quiz B, Translation

授業の手順

最初の授業時に各クラスの学生を4～5名から構成されるグループに分ける。前期の授業では名簿順に、後期の授業ではくじで決める。

1. “Reflections”使用クラス

最初にテキストに収録されている小説の作者および小説の紹介に関して担当者が30分程度の説明をおこなう。その後で50分の時間を与え、学生に小説の本文を読ませ、グループのメンバーで協力してExerciseの問題の解答に取り組ませる。

2. “Dahl, Dahl, Dahl!: Reading Funny Tales from *Boy*” 使用クラス

最初にパーシング・メソッドを解説した“Hints”を担当者が30分ほど説明するその後で50分の時間を与え、学生に小説の本文を読ませ、グループのメンバーで協力してExerciseの問題の解答に取り組ませる。

3. “Dead Poets Society” 使用クラス

最初にテキストの各Unitのスキプトの動画を10分程度視聴させる. その後で30分位の時間を与え, Two kinds of Vocabulary exercises, First viewingの問題をグループで協力して解答させる. そして2回目の視聴をおこなった後、20分程度でSecond Viewing, Grammar and Expressionsの解答に取り組みさせる. 最後にCDを聞かせてListen and Writeのディクテーションの問題の書き取りをおこなう.

4. “When Harry Met Sally. . .” 使用クラス

最初にテキストの各Unitのスキリプトの動画を10分程度視聴させる. その後で30分位の時間を与え, Vocabulary Quiz A, Vocabulary Quiz B, Translationの問題をグループで協力して解答させる. そして2回目の視聴をおこなった後、20分程度でComprehension Quizの解答に取り組ませる. 最後にCDを聞かせてTrue / False Listening Quizの解答作業をおこなわせる.

アンケート調査

以下の8つのアンケート事項に対して、5段階のリッカート尺度で答えてもらうアンケート調査を最後の授業時に実施した。アンケートの質問事項は山根（2013）のアンケート事項を使用させていただき、一部改変をおこなった。

1. こうしたグループでおこなう協同学習に関してどうおもいますか？

- ① とてもいい ② 少しはいい ③ どちらともいえない ④ あまりいいと思わない ⑤ よくない

2. 協同学習は楽しかったですか？

- ① とても楽しかった ② まあまあ楽しかった
③ どちらともいえない ④ あまり楽しくなかった
⑤ 楽しくなかった

3. 授業に集中できましたか？

- ① とても集中できた ② かなり集中できた
③ どちらともいえない ④ あまり集中できなかった
⑤ 集中できなかった

4. 教え合うことによって、自信がつけましたか？

① かなりついた ② 少しはついた ③ どちらともいえない ④ あまりつかなかった ⑤ つかなかった

5. 他者を理解することの大切さがわかりましたか？

① とてもよくわかった ② ある程度わかった ③ どちらともいえない ④ あまりわからない ⑤ わからない

6. 自分で学習することの大切さがわかりましたか？

- ① とてもよくわかった ②ある程度わかった ③ どちらともいえない ④ あまりわからない ⑤ わからない

7. 教え合うことによって、より深く英語を学ぶことができましたか？

- ① できたと思う ② 少しはできた ③ どちらともいえない ④ あまりできなかった ⑤ できなかった

アンケート調査の結果

3つの大学の①～⑧までの平均値と全大学の平均値

	A県立大学□	B私立大学□	C女子大学□	平均値□
1□	71□	85□	69□	74□
2□	73□	69□	58□	67□
3□	40□	53□	28□	40□
4□	48□	53□	62□	54□
5□	77□	81□	81□	80□
6□	84□	86□	87□	86□
7□	65□	68□	63□	65□
8□	55□	63□	76□	65□

英語力を向上させる上での協同学習の効果

私立B大学の参加者69名を対象に,Vocabulary Levels TestとC-testの2種類のテストを使用して参加者の語彙力と全般的な英語力の増減を調査した.テストの信頼度を示すクロンバック α は Vocabulary Levels Testの場合 $\alpha = .86$,C-testの場合 $\alpha = .84$ であった.一般に $\alpha = .80$ 以上の数値は高い信頼度を示すといわれているので,両テスト共に信頼度の高いテストといえる.

Vocabulary Levels Testの満点は10,000語,C-testの満点は100点である.この2種類のテストを1回目と14回目の授業時に実施した際のクラスの平均点を以下に示してみる.

	1回目□	14回目	増減
Vocabulary [?] Levels [?] Test□	4, 334□	4, 501□	+167□
C-test□	44□	53□	+9□

まとめ

3つの大学の肯定的評価で数値が最も高かったのは、6の「自分で学習することの大切さがわかりましたか？」で、86%の高い割合を占めており、3つの大学の差も僅か3%である。

自分で学習することの重要性の認識は、自律した学習を促す大きな契機となるものである。

5の「他者を理解することの大切さがわかりましたか？」に関する80%に達する肯定的見解が得られた。協調性を養う上で必要不可欠である他者理解の精神の涵養にも協同学習が有効であることが判明した。

74%の参加者が協同学習を肯定的にとらえており、67%の参加者が協同学習は楽しかったと答えているので、一斉学習に行き詰まった際に、協同学習を取り入れるてみることも一考に値するのではないかと思う。

「授業に集中できた」参加者が40%しかいなかったことは、課題を分担しておこなったために与えられた時間よりもかなり早く解答を仕上げてしまったことが、最も大きな原因であると推測される。授業時の私語は禁止し、私語をしている場合は出来るだけ口頭で注意をおこなったので、私語による授業集中の低下はほとんどなかったと考えられる。

教育的示唆

英語力測定テストの結果から、協同学習が英語力を向上させる上である程度の効果があることが判明した。また協同学習が自律的な学習を促進する契機ともなることもある程度実証付けられた。さらに今後も少子化が進み人口の減少が続いていくとすれば、協同学習が他人を思いやり協調精神を涵養する契機ともなることも判明した。

今後の課題

1. アンケート調査および英語力の増減の検証は1回だけのものであるために、今後は協同学習実施クラスと英語力の増減クラスを増やすことで、より客観性のあるデータをもとに協同学習の研究を続けていきたい。
2. 授業時の集中力を高めるようなタスクを考案したい。

3. 協同学習を実践しておられる先生方の授業参観や実践報告を読むことで、授業の質の向上を図りたい。

4. 今回は文学作品と映画を使用したクラスで協同学習をおこなったが、雑誌記事や新聞、或いは学生の専攻に関係した記事等を教材として使用した場合、アンケート調査や英語力測定テストに違いが生じるかに関しても考察する必要があるであろう。

参考文献

江利川春雄(2014).「意欲と学力を高める協同学習のすすめ」 鹿児島TEFL研究会での講演のハンドアウト

江利川春雄(2014).「協同学習で英語授業をリフレッシュ」 大阪大学教員のための英語リフレッシュ講座の予稿集

斉田智里(2010)「項目応答理論を用いた事後的等化法による英語学力の経年変化に関する研究」名古屋大学大学院発達研究科提出博士論文

森永弘司(2014). “Dahl, Dahl, Dahl!: Reading Funny Tales from *Boy*.” 東京: 松柏社.

田中長子・本多浩子他.(2014).『*Dead Poets Society* 映画総合教材「いまを生きる」』. 東京: 音羽書房鶴見書店.

山根貴子(2013).「学習者中心のタスク活動: 学習者の自立を目指した協働学習」 2013年度JACET関西支部秋季大会での口頭発表

Dennis, J, & Griffin, S. (1998). *Reflections. Second Edition. An Intermediate Reading Skills Text.* Tokyo: Shohakusha.

Ephron, N, & Sasaki, E. (1997) *When Harry Met Sally . . .* Tokyo: Shohakusha.